

## 平成30年度区長総会開かれる

4月16日(月)若穂支所において、第1回区長総会が開催されました。今年度初めて区長に就任された皆様が多く緊張感にあふれ、地区の課題解決への取り組みを推進しようと決意を新たにしていました。

役員選出では、会長に高山茂和(川田区長会長)、副会長に竹内守雄(綿内区長会長)、小宮山泰典(保科区長会長)が選出されました。若穂まちづくり計画実行元年にあたるため、住民の総力あげでの取り組みが求められます。

退任されました綿内副会長はじめ大勢の区長の皆様大変お疲れ様でした。引き続き地域の自治活動・運営にご協力とご支援をお願いいたします。

## ～ 決意を新たに第一歩 ～



## 32名の先生方ようこそ若穂へ



## ～ 地域の子どもたちをよろしく ～

4月3日(火)若穂支所において、今年度の人事異動により若穂地区の小中学校へ赴任された教職員の紹介がありました。

平成27年度から地区内の学校の全教職員が一同に集まり学校ごとに転入された先生方の紹介をするものです。今年度は若穂中学校11名、綿内小学校7名、川田小学校7名、保科小学校7名の皆様をお迎えいたしました。早く若穂になじみ児童・生徒の教育に全力で取り組む決意を述べておられました。

若穂の将来を担う子どもたちへの指導よろしくお祈りします。

## 千曲川右岸築堤計画協議

3月20日(火)若穂支所において千曲川河川事務所から千曲川堤防の綿内・牛島側について前回の地元意見要望を受けて、側道・坂路の追加、農道の付け替え、取り付け道路の形状修正等を行った道路整備について説明がありました。

工事期間は出水期には工事を行わず12月から5月の間で実施する予定です。堤防道路は綿内双川橋から道幅が概ね6メートルに拡幅され、芦ノ町北側まで延伸し市道として整備され県道につながる予定です。落合橋交差点改良については、スマートIC設置や橋の架け替えとも連動しておりなかなか計画が見えてこない現状があります。引き続き粘り強く要望していくことが求められます。

## ～ より安全で便利に～



### 新年度を迎え若穂支所で人事異動

### 転出の皆さん新しい職場でご活躍を！

### 転入の皆さんよろしく！

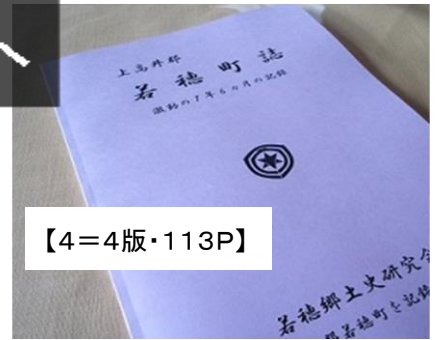
#### 【転出】

#### 【転入】

庭山 透 支所長	保健福祉部主幹長野市社会福祉協議会(次長兼地域福祉課長)へ	西山 昭雄 支所長	安茂里支所から
庄村 国宏 主査	芋井支所(主査)へ	石坂 京子 主査	三輪支所から
清水 秀一 土木担当	退職	高倉 洋 土木担当	新規

# 若穂郷土史研究会が『若穂町誌』発行へ

綿内・川田・保科の3か村が合併して誕生した上高井郡若穂町は、僅か7年半後には長野市との大合併で町制を廃止。薄れゆく“若穂町の時代”を、若穂郷土史研究会のプロジェクト(佐藤次二代表)が『町誌』にまとめました。



【4=4版・113P】



若穂で松竹が3本も映画ロケしたのはなぜ?」「若穂町って、誰が、どんな理由で名付けた?」「あの頃のテレビや電話の普及は?」などの興味ある内容や、当時の町職員へのアンケートなども掲載されています。数は僅かですが、購入も可能とのことですので詳細については下記の方へお問い合わせください。

【若穂郷土史研究会】 ☎ 佐藤次二(282-4677) 丸山誠一(282-2908) 小林隆夫(282-2072)

## 第6回とびっくラン in わかほ決算総会開催



第6回とびっくラン in わかほは多くの地域の皆様に支えられ、お蔭様で大きな成果を得ることができました。3月16日(金)綿内中町公民館で決算総会が開かれ、事業報告、決算報告がなされました。大会エントリー数は1,904名、4コース26部門の出走者数1,683名で協力いただいたボランティアの皆様は延べ950名を超えました。250以上の企業・団体・個人及び地域の皆様から550万円を超える協賛金をいただき、収入総額は1,228万円余りとなりました。大会経費(宣伝・広告費、会場設営費、記録計測費、コース経費、参加賞、スタッフ経費等)の支出総額は1,106万円余りで、平成30年度へ121万円ほど繰り越すことが承認されました。今年

は11月11日(日)に第7回大会を開催する予定ですので、一層の格別なご支援・ご協力をお願いいたします。

## 概要版まちづくり計画全戸配布

～ 全住民参加で ～

平成27年度から若穂まちづくり計画策定委員会が検討を重ねてきました「若穂まちづくり計画」概要版を全戸配布しました。今後10年間で実行する事業を「地域振興」、「福祉教育文化」、「道路交通」の3領域についてまとめられています。

我が郷土若穂が「住んでみたい、住んでよかった、品格のあるまち若穂」となるよう「若穂まちづくり実行委員会」が主体となって事業を推進していくことが重要となってきます。住民一丸となって、活気にあふれ魅力ある地域づくりに取り組みましょう。



問合せ 若穂地区住民自治協議会(若穂支所内) ☎ 050-3583-5700  
若穂有線 2062 e-mail [wakahoj@grn.janis.or.jp](mailto:wakahoj@grn.janis.or.jp)